

# 東北支部設立について

東北支部長 建築学科 S40 年卒業 三 藤 史 郎



まず初めに、2011年3月11日の東日本大震災に際しまして、福井大学工業会川上英男理事長名で東北地区会員に対して早々のお見舞状を頂きましたこと深く感謝申し上げます。

東北在住会員一同、復興への勇気と同窓の絆を強くもてたのではないのでしょうか。

この紙面をお借りして、ご心配頂いた皆様に東北地区会員を代表して厚く御礼申し上げます。

さて、2011年11月12日「福井大学工業会東北支部設立総会」を開催し、長年懸案であった全国唯一支部のない空白地区でありました東北に工業会第10番目の支部として発足する事が出来ました。

これは今回の東日本大震災が大きな契機となり、工業会本部の絶大なるご支援を頂いた事で開催する事が出来ましたこと改めて感謝申し上げます。

東北における会員同士の集りは、私が仙台に転勤して来てからの昭和59年(1984年)4月に、会員名簿から拾い出した30余名の方々に声掛けし7名出席で親睦会を仙台で開き、その席上「工業会東北会」としてやっていこうとの話になりましたが、それぞれ忙しい世代でもありその話は断ち切れになっていました。この集りのずっと前、昭和45年頃に工専建築第2回卒業(昭和3年)の大先輩がご存命の時に、9名出席で開催されたとの話も聞いております。

前回の会員による懇親会から数えても30年近く、

この震災を機に東北支部を設立しようとの話になり、設立発起人会立上げに向けて8月初旬に本部より必要な資料を提供頂くとともにご指導を受け、島本(A41)さんと二人で作業を開始する事にしました。

まず私達を除く宮城県在住者に発起人会を立ち上げたい旨の文章を発送し、参加を呼びかけました。しかし、皆さんそれぞれ震災復興等のこともあり多忙で出席出来ず、発起人会を開催出来なかったため二人だけで発起人会を立ち上げました。

10月中旬に11月12日の設立総会開催を決めて東北地区在住の会員70数名全員に案内することにしたのですが、これには工業会本部事務局に全面的にご協力を頂き、こちらで作成した設立総会開催の案内を発送して頂くことになりました。

返信期限内に26通の返信があり、そのうち出席者は4名(岩手・山形県各2名)だけで宮城県からの出席者はなく、総会委任状提出者は22名でした。

このような経緯を経て11月12日「福井大学工業会東北支部設立総会」が川上理事長ご出席のもと出席者6名、委任状提出者16名で開催され無事終了し、東北支部が設立されました。

総会終了後、少人数ではありましたが、会場となったホテルのレストランで懇親会を開催し、工業会や福井大学の現状その他色々話し合いを持つことが出来楽しいひと時を過ごしました。

震災から8ヶ月、現役世代は大震災の復旧・復興に向けて休めない事情があり、また東北地区の会員は広範囲にわたっていることから出席者が少なかったようです。

今後、この東北6県に70名を超す方々が在住されており、これを機に会員相互の連携と親睦の機会を確立すべく頑張る行かねばと思っております。

これからも本部はじめ全国の福井大学工業会会員の皆様のご支援を心からお願いいたします。